

(別紙)

障害福祉分野のICT導入モデル事業 事業報告書

自治体名 愛知県

【基本情報】

フリガナ	トクテイヒエイリカツドウホウジンピースフォーユー
法人名	特定非営利活動法人piece for you
フリガナ	シュウロウケイゾクシエンビーガタジギョウショ ユイ
事業所名	就労継続支援B型事業所ゆい
提供サービス（複数のサービスを提供している場合は、主たる1つのみ選択）	
就労継続支援B型	
職員数（常勤換算数）【「全職員の月間勤務時間数」／「常勤職員の月間勤務時間数」にて算出（産休・育休、休職は除く）】	
5.0 人	
ICT機器等導入完了日	令和 6 年 3 月 11 日

※行・列の追加は行わないでください。

（１）モデル事業の実施以前における当該事業所のICT機器等の導入・活用状況

業務内容	ICT機器等の導入・活用状況
支援記録の作成	②一部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている）
職員間の情報伝達・情報共有	②一部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている）
請求業務	③ICT機器等を導入している（多くの事務作業が電子化されている）
勤怠管理	②一部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている）
シフト表作成	③ICT機器等を導入している（多くの事務作業が電子化されている）
給与業務	③ICT機器等を導入している（多くの事務作業が電子化されている）

※「業務内容」に応じ、ICT機器等の導入・活用状況を選択してください。

- ①ICT機器等を導入していない（紙のみで対応）
②一部、ICT機器等を導入・活用している（紙とICT機器等で対応）
③ICT機器等を導入・活用している（全てICT機器等で対応）

（２）モデル事業実施によるICT機器等の導入状況

ICT機器等の種別	導入目的	製品名	台 数	備 考
①パソコン	①作業の迅速化	HP Pavilion 15-eg3000	2	

※「ICT機器等の種別」については次の中から選択し、その種別ごとに導入目的、製品名、台数等を記載してください。

- ・情報端末等・・・①パソコン、②スマートフォン、③タブレット、④インカム
・ソフトウェア・・・⑤記録・情報共有・請求関連業務ソフト、⑥勤怠管理・シフト表作成・人事給与関連業務ソフト
・通信環境機器・・・⑦Wi-Fi ルーター

なお、「⑧その他」を選択した場合には、「備考欄」に、ICT機器等の種別を記載してください。

※「導入目的」については、次の中から特に該当する番号を選択してください。

- ①作業の迅速化（支援記録の作成など）
②情報の共有化（職員間の情報伝達・情報共有など）
③業務の統合理化（請求業務、勤怠管理、シフト表作成、給与業務など）
④その他

なお、「④その他」を選択した場合には、「備考欄」に、導入目的を記載してください。

(3) モデル事業を活用して改善を図った業務におけるICT機器等の導入前後の業務時間、作成文書量の状況

① ICT機器等導入前の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		C. 1件当たりの 平均処理時間	年間業務時間 D (B×C)	1人あたり 業務時間 (D÷業務従事者数)	備 考
		A. ひと月当たり 発生件数	B. 年間発生件数 (A×12)				
①支援記録の作成	4 人	440 件	5,280 件	10 分	880 時間	220 時間	
			0 件		0 時間		
			0 件		0 時間		
			0 件		0 時間		
			0 件		0 時間		
		440 件	5,280 件	10 分	880 時間	220 時間	

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。
なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1 及び※2 については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1 >A. ひと月当たり発生件数の算出方法

1日における利用人数の平均20名に対して、月あたり22日の入力が発生するため、20人×22日＝440件で算出。

<※2 >C. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

主に支援記録の入力を行うスタッフの1時間あたりの入力人数を計測したところ平均で役6人分だったため、1件あたりの平均時間を10分と算出。

② ICT機器等導入後の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		C. 1件当たりの 平均処理時間	年間業務時間 D (B×C)	1人あたり 業務時間 (D÷業務従事者数)	備 考
		A. ひと月当たり 発生件数	B. 年間発生件数 (A×12)				
①支援記録の作成	4 人	440 件	5,280 件	7 分	616 時間	154 時間	
			0 件		0 時間		
			0 件		0 時間		
			0 件		0 時間		
			0 件		0 時間		
		440 件	5,280 件	7 分	616 時間	154 時間	

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。
なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1 及び※2 については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1 >A. ひと月当たり発生件数の算出方法

1日における利用人数の平均20名に対して、月あたり22日の入力が発生するため、20人×22日＝440件で算出。

<※2 >C. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

ICT機器等導入後における、支援記録の入力を行うスタッフの1時間あたりの入力人数を計測したところ平均で8.5人分だったため、1件あたりの平均時間を7分と算出。☑

年間業務時間数削減率（％）

30.0%

※以下のICT機器等導入前・後の作成文書量は、該当する文書がある場合に記載してください。

③ ICT機器等導入前の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A. ひと月当たり	B. 年間作成文書量 (A×12)
		0 ページ
		0 ページ
		0 ページ
	0 ページ	0 ページ

④ ICT機器等導入後の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A. ひと月当たり	B. 年間作成文書量 (A×12)
		0 ページ
		0 ページ
		0 ページ
	0 ページ	0 ページ

年間作成文書量削減率（％）

#DIV/0!

(4) ICT機器等の導入効果

① 事業所におけるICT機器等導入の推進方法

ICT機器の導入前に事業所内で事前周知を実施し、ICT機器（パソコン）の台数が増えることでの活用方法についての話し合いを実施。
誰がどのパソコンを使うのか、支援記録の入力の担当割振の必要性などの意見があり、事前準備を進めた。
ICT機器の導入後は、同時に支援記録の入力ができるようになったため、入力の担当決めを行い、作業時間の短縮を図り、スタッフの業務負担の軽減に取り組む。

※事業所において、ICT機器等の導入をどのように進めたか（事業所内の推進体制、外部への相談など）を記載してください。
また、事業所にICT機器等の導入にあたり工夫した点、苦労した点がありましたら、その点も記載してください。

②ICT機器等の導入による業務の変化（複数選択可）

情報端末導入による効果

☒ 1 支援記録の作成に要する時間が減った。

☒ 2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。

☐ 3 インカム等の導入により、職員間の情報伝達や職員の移動負担が軽減した。

☐ 4 利用者の情報を一元管理できるようになった。

☐ 5 その他の効果があった。

☐ 6 効果がなかった。

※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。

ソフトウェア導入による効果

☐ 1 支援記録の作成に要する時間が減った。

☐ 2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。

☐ 3 利用者の情報を一元管理できるようになった。

☐ 4 記録業務、情報共有業務、請求業務を一気通貫で行えるようになった。

☐ 5 勤怠管理、シフト表作成等の業務を一気通貫で行えるようになった。

☐ 6 その他の効果があった。

☐ 7 効果がなかった。

※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。

③ICT機器等の導入による業務効率化及び職員の業務負担軽減の状況

【支援記録の入力にかかる時間の削減】

これまではスタッフ分のパソコンが無く、支援記録の入力するための待ち時間が起きたり、パソコンの老朽化も起きており、動作が遅いために待ち時間も起きていた。しかしICT機器導入で、パソコンの稼働率が上がり、性能の良いパソコンで起動や動作の遅延がなくなることができて、入力にかかる時間が全体で約30%ほど削減ができ、他の業務に取り掛かることができた。

具体的に記載してください。

④ICT機器等の導入による業務効率化で確保できた業務時間の活用方法

試験記録の入力時間の削減で生まれた時間を活用し、スタッフ間での支援記録内容の共有により多くの時間を当てることができた。

※ICT機器等の導入により、業務効率化で確保できた職員の業務時間について、他のどのような業務に活用できたかなど、具体的に記載してください。

(5) ICT機器等の導入による費用面での効果

ICT機器等の導入による費用の縮減

無

※ICT機器等の導入による費用の縮減が「有」の場合、以下についても回答をお願いします。

縮減額（円）	
職員の賃上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当（※1）	
サービスの質の向上に係る取組への充当（※2）	

（※1）「その他職場環境の改善への充当」の内容について、具体的に記載してください。

（※2）「サービスの質の向上に係る取組への充当」の内容について、具体的に記載してください。